

平成30年（2018年）3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2018年2月8日



JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center
日本動物高度医療センター

株式会社日本動物高度医療センター

東証マザーズ：6039

2018年3月期第3四半期 決算のポイント

- ◆ 2018年3月期第3四半期は、前年同期比**2.3%**の増収、一方、東京病院開院に伴う人件費、消耗品費等のコストも上昇
⇒ 営業利益、経常利益は増益も、
親会社株式に帰属する四半期純利益は減少
- ◆ 診療件数は堅調に推移したものの、手術件数は微減

2018年3月期第3四半期 決算ハイライト

(百万円)

	2017年3月期3Q		2018年3月期3Q		
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	前年同期比増減(%)
売上高	1,645	100.0	1,683	100.0	+2.3
営業利益	223	13.6	234	13.9	+4.9
経常利益	213	13.0	218	13.0	+2.4
親会社株式に 帰属する 四半期純利益	176	10.7	161	9.6	△8.5
1株当たり 四半期純利益	75.65	—	68.47	—	—

2018年3月期第3四半期 決算サマリー

(百万円)

		2017年 3月期 3Q	2018年 3月期 3Q	増減	増減率 (%)	備考
売上高	JARMeC	1,292	1,330	38	3.0	初診数3,629件(+3.5%)、総診療数15,473件(+7.9%)、手術数1,168件(△1.0%)
	Camic	353	353	△0	△0.1	検査件数3,905(△1.0%)
	合計	1,645	1,683	37	2.3	
売上原価 + 販売管理費		1,422	1,449	26	0.8	
	人件費	688	724	36	5.3	東京病院開院に先行して人員数増加 (期中平均+10人、期末+15人)
	消耗品費	25	38	12	49.8	東京病院の備品等 (14百万円)
	減価償却費	159	118	△40	△25.4	一部の高額医療機器の償却期間終了により減少
	租税公課	35	51	15	44.8	シンジケートローン契約に伴う不動産担保登記費用 (12百万円) 等により増加
営業利益		223	234	11	4.9	
営業外費用		30	35	5		シンジケートローン組成時の手数料 (15百万円) により増加。支払利息は減少 (△10百万円)
経常利益		213	218	5	2.4	
特別損益 (損失は△)		△0	△9	△9	-	退職給付引当金繰入 (9百万円)
親会社株主に帰属する 四半期純利益		176	161	△14	△8.5	

通期業績予想

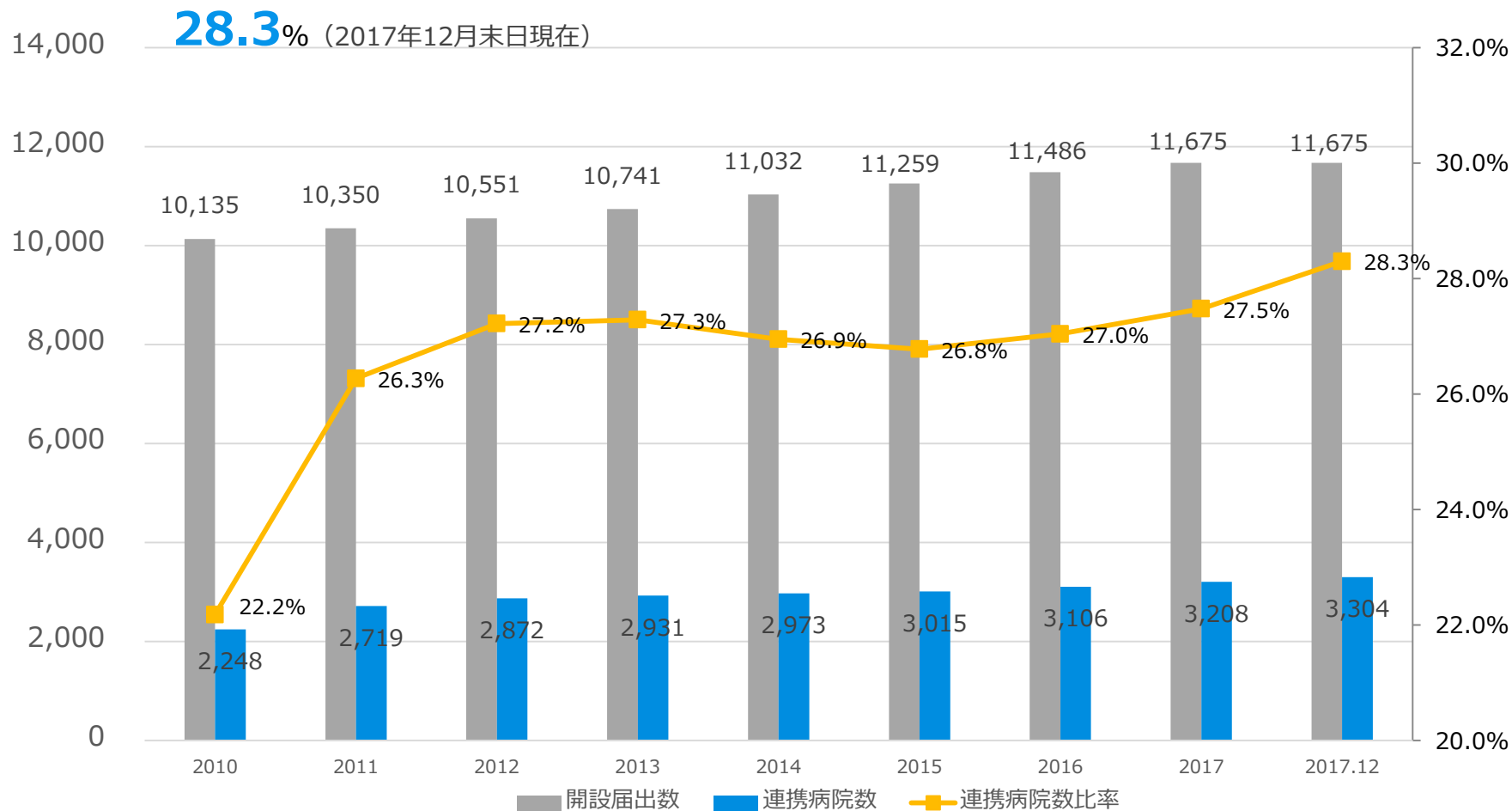
(百万円)

	2018年3月期3Q				2018年3月期	
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計実績	予想	進捗率
売上高	552	570	561	1,683	2,360	71.3%
営業利益	73	94	67	234	325	72.2%
経常利益	54	95	68	218	310	70.4%
親会社株式に帰属する 当期純利益	32	76	53	161	260	62.3%
1株当たり 当期純利益	13.85	32.26	22.27	68.47	111.08	-

連結貸借対照表

	2017年3月期末		2018年3月期 3Q				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減 (百万円)	増減率 (%)	主な増加/減少要因
流動資産	1,101	21.5	1,500	24.0	398	36.2	
固定資産	4,023	78.5	4,757	76.0	733	18.2	東京病院建物工事等による有形固定資産の増加 譲渡制限付株式発行等による投資その他の資産の増加
資産合計	5,125	100.0	6,257	100.0	288	22.1	
流動負債	1,727	44.3	1,000	16.0	▲ 726	▲ 42.1	
固定負債	2,169	55.7	3,785	60.5	1,615	74.5	シンジケートローン借換えに伴う短期借入金および1年内返済予定の長期借入金の減少、長期借入金の増加
負債合計	3,897	76.0	4,786	76.5	889	22.8	
純資産合計	1,228	24.0	1,471	23.5	243	19.8	新株予約権行使および譲渡制限付株式発行による増資
負債・純資産合計	5,125	100.0	6,257	100.0	288	22.1	

連携病院数比率推移



出所：開設届出数は農林水産省より前年12月末時点の小動物診療施設の軒数。
連携病院数は各年3月末時点の軒数。
2017.12の開設届出数は2016年12月末時点。

ご留意事項

- 本資料は、株式会社日本動物高度医療センターの事業及び業界動向についての株式会社日本動物高度医療センターによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明はさまざまナリスクや不確実性がつきまとっています。
- 既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 株式会社日本動物高度医療センターは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2018年2月8日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社日本動物高度医療センターにより2018年2月8日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。